

聖和乳幼児保育センター
のびる芽
2020年5月 No 442

社会福祉法人聖和福祉会
聖和乳幼児保育センター
園長 土井 善司

乳児クラス月主題：「みつける」
幼児クラス月主題：「気づく」

新型コロナウイルス感染防止のための「緊急事態宣言」が兵庫県に4月7日に発令されましたが感染状況がなかなか好転せず、本園でも4月20日以降は原則休園となり、医療従事者や、社会機能を維持するための職業に従事され、家庭で保育が出来ない保護者を対象として「特別保育」を5月30日まで行うこととなりました。保護者の皆様におかれましても、外出自粛が続いている状況での家庭保育は精神的にも大変なこととお察しいたします。

さて、人類の歴史はウイルスとの闘いです。ペスト、天然痘、はしか、そして第一次世界大戦中の1918年に流行したスペイン風邪では推定1億人ともいわれる人々がなくなりました。また、2000年代にはSARSといったウイルスに隣国の中国をはじめ東南アジアの国々が苦しめられました。毎年流行するインフルエンザウイルスもいまだに撲滅できません。しかし、私たちはこのようなウイルスとの対処法を学び、社会生活を続けてきた歴史があります。

新型コロナウイルスも完全に撲滅することは不可能でしょうが、ワクチンや特效薬の開発によって緊急事態にならず通常の社会生活ができる日が必ず戻ってきます。今は少し我慢の時です。もし家庭保育でご心配なことがあれば、ご相談いただけたいと思います。

この4月から入園された園児の保護者の皆様は、「受け入れ保育」も十分にできず不安でしょうが、子どもたちは、自分の置かれた環境に自然となれるものです。ご安心ください。

特別保育期間（5月30日終了予定）が終了して、みなさまのお子さまをお預かりし、誕生会等の行事ができる日常が戻ることを私たち職員一同楽しみにしています。

特別保育延長に伴い、5月の行事は中止とさせていただきます。

